



2014年3月期第2四半期 決算説明会資料

2013年11月1日(金)



東洋水産株式会社

URL <http://www.maruchan.co.jp/>



決算説明会資料 目次

- 1 . 2013年度第2四半期累計連結概要 P.4

- 2 . 2013年度第2四半期累計
セグメント別概況と今後の方針 P.6 ~ P.13

- 3 . 通期見通し P.15

- 4 . 配当予想 P.16

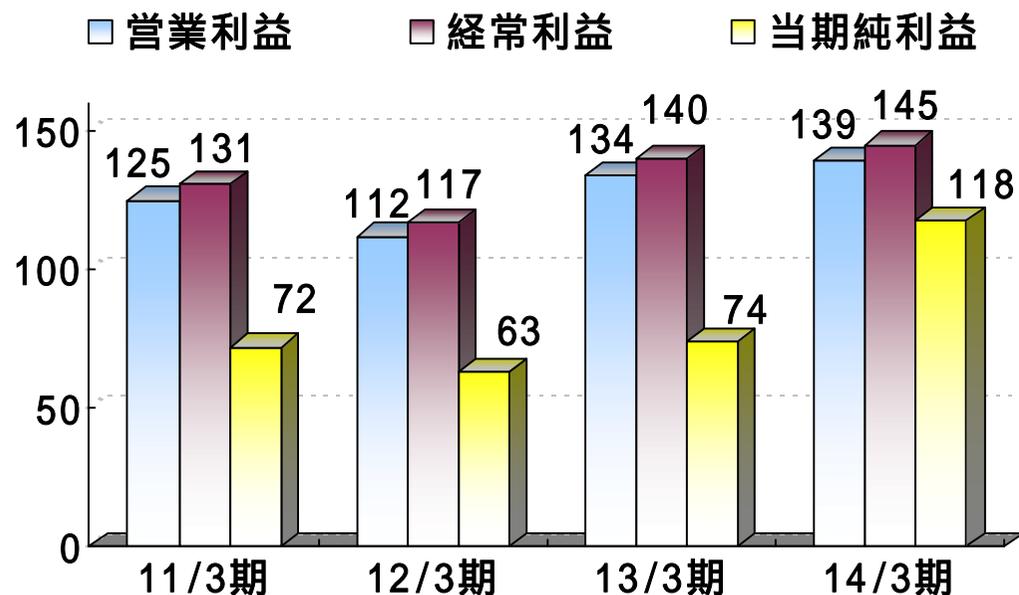
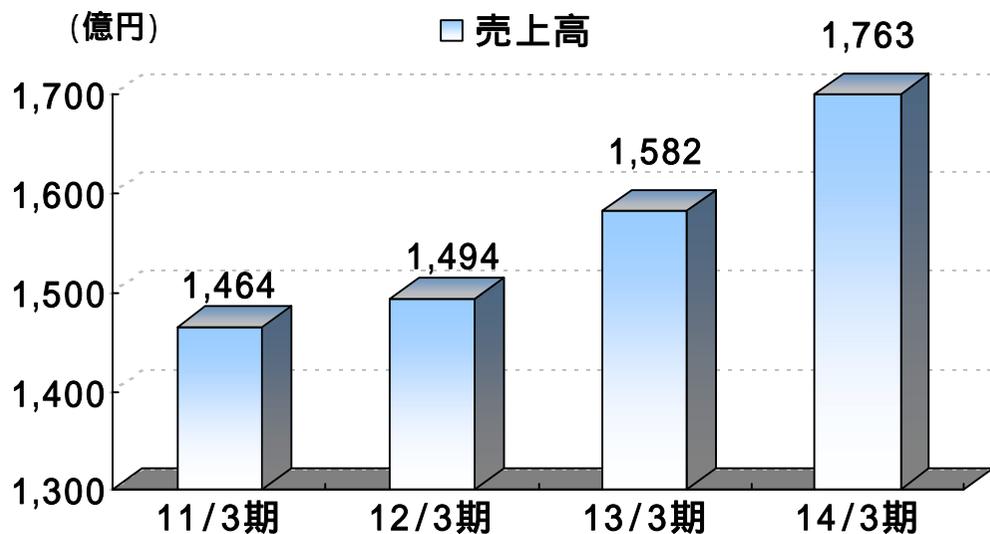
- 5 . 補足資料 P.18 ~ P.20



1 . 2013年度第2四半期累計 連結業績



連結業績（第2四半期累計）



(単位: 億円)

	12/9期	13/9期	増減率
水産食品事業	160	162	101.5%
海外即席麺事業	285	353	123.7%
国内即席麺事業	493	537	109.1%
低温食品事業	325	330	101.7%
加工食品事業	83	86	103.0%
冷蔵事業	76	79	104.2%
その他	161	216	134.0%
売上高合計	1,582	1,763	111.4%

	12/9期	13/9期	増減率
水産食品事業	2	0	
海外即席麺事業	58	62	107.8%
国内即席麺事業	40	45	111.0%
低温食品事業	21	18	84.8%
加工食品事業	0	1	
冷蔵事業	7	8	105.0%
その他	11	10	90.8%
(調整額)	4	2	
営業利益合計	134	139	103.6%

金額の億円未満は四捨五入して表示しております。



2 . セグメント別概況と今後の方針



国内即席麺事業

【第2四半期の概況】

売上高前年対比（4月～9月累計）

カップ麺+2%、袋麺+29%、合計+9%

<カップ麺>

主力品、フレーバー展開の健闘

- ・ 麺づくり 醤油とんこつ（4月）



<袋麺>

マルちゃん正麺の製造能力増強と
フレーバー展開、リニューアル

- ・ 3号目ライン稼動（3月）
- ・ 冷し中華発売（4月）
即席冷し中華市場が約3倍に大幅進捗
- ・ 味噌味リニューアル（8月）





国内即席麺事業

【今後の方針】

【主力商品の強化】

- ・新アイドルユニットでの話題づくり



- ・フレーバー展開

即席麺市場の活性化

【新基軸商品の開発】

- ・女性向けカップ麺「hanauta」
- ・野菜たっぷり「大人のこだわり」



【袋麺市場の活性化】

- ・マルちゃん正麺 和風麺発売開始





国内即席麺事業

マルちゃん 正麺

せい めん



累計販売食数 5億食達成（10月4日）

引き続き、メーカーシェア・ブランドシェア共に1位を維持

和風麺市場にもチャレンジ

うどん・カレーうどんの発売（10月7日）

和風袋麺市場は、乾麺や冷凍・チルドのうどんと比較し小さいことに注目
ラーメン同様、特許技術「生麺うまいまま製法」を用いた新規開発商品

マルちゃん正麺全体

今期販売目標 4億食（うち、和風麺新商品 4,500万食）

今後も即席袋麺市場のさらなる拡大に貢献しつつ、新しい価値・食べる楽しみを提供



低温食品事業

【第2四半期の状況】

売上高前年対比（4月～9月累計）
生麺+2%、冷食+2%、合計+2%

<生麺・チルド>

生麺市場、数量、単価共にダウン

主力の「焼そば類」のフレーバー展開
スパゲティのヒットによる貢献

<冷凍食品>

外食産業、産業用給食、惣菜ルート
への拡売

主力の業務用冷凍麺の価格競争激化

【今後の方針】

<生麺・チルド食品>

素材感・本格感・簡便性

30代～40代を意識したプロモーション

高付加価値のある新商品の提案により、

ラーメン、そば、うどん各分野で全エリアシェア

No.1を目指す



<冷凍食品>

冷凍麺の販売強化

主力の業務用冷凍麺の販売を中心に展開

外食産業、惣菜向け商品の強化



海外即席麺事業

【第2四半期の状況】

販売数量前年対比

米 1%、墨+6%、合計+1%

<アメリカ>

- ・ B O W L 商品の販売は種まき段階
- ・ 原料安に伴う値下げ圧力への対応
- ・ 小売側の疲弊による在庫圧縮傾向

<メキシコ・中南米>

- ・ 引き続き安定した需要を維持
- ・ 袋麺の販売促進キャンペーン





海外即席麺事業

【外部環境】

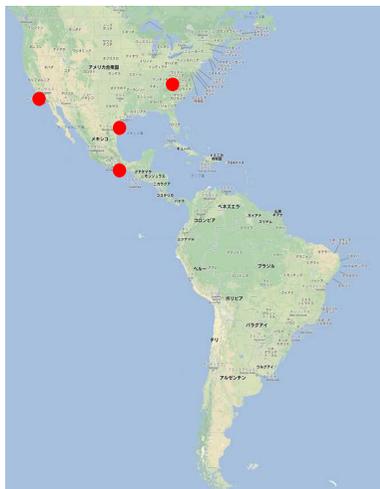
- ・ 景気動向
- ・ 小売疲弊一巡

北米事業での販売数量増

【中南米市場向け販売】

- ・ シェア
アメリカ：68%
メキシコ：90%
- ・ 人口
北米：4.6億人
中南米：4.8億人

魅力的な市場での
種まき効果



【テキサス工場稼働】

- ・ 2014年4月稼働開始
- ・ 北米全体の生産能力：年間55億食
- ・ 生産コスト減、運賃減
- ・ 減価償却費増





事業セグメント別 利益増減要因

(金額単位：億円)

(金額単位：億円)

(金額単位：百万ドル)

2014年3月期 第2四半期実績	国内即席麺			低温食品			海外即席麺		
	12/9	13/9	増減	12/9	13/9	増減	12/9	13/9	増減
売上高	493	537	45	325	330	5	367	361	-6
営業利益	40	45	5	21	18	-3	74	64	-11

(金額単位：億円)

(金額単位：億円)

(金額単位：百万ドル)

利益増減要因	国内即席麺			低温食品			海外即席麺		
	上半期	下半期	年間	上半期	下半期	年間	上半期	下半期	年間
売上高	13	7	20	1	4	5	-9	-5	-14
原材料	4	-7	-3	2	-3	-1	-1	8	7
製造原価	-3	2	-1	0	0	0	-1	0	-1
販売費・一般管理費	-9	-5	-14	-6	1	-5	0	0	0
合計	5	-3	2	-3	2	-1	-11	3	-8



水産食品・加工食品・冷蔵庫事業

【水産食品事業】

年初来からの円安、漁獲不漁による魚価上昇、デフレ、低調な消費マインド
得意商品の鮭鱒・魚卵・マグロ・刺身・骨無し魚等の商材を中心に高付加価値の
ある新規商品開発、販売を進める

【加工食品事業】

米飯事業にて販売数量増加、原料米価格の下落傾向により利益改善をめざす
強みであるFD事業において、カテゴリーシェアNo.1へ

【冷蔵庫事業】

猛暑によりアイスクリームの取扱い、輸入畜産肉の取扱いが順調に推移
計画する季節商品の物量確保と既存顧客への集荷活動を強化、新規顧客獲得

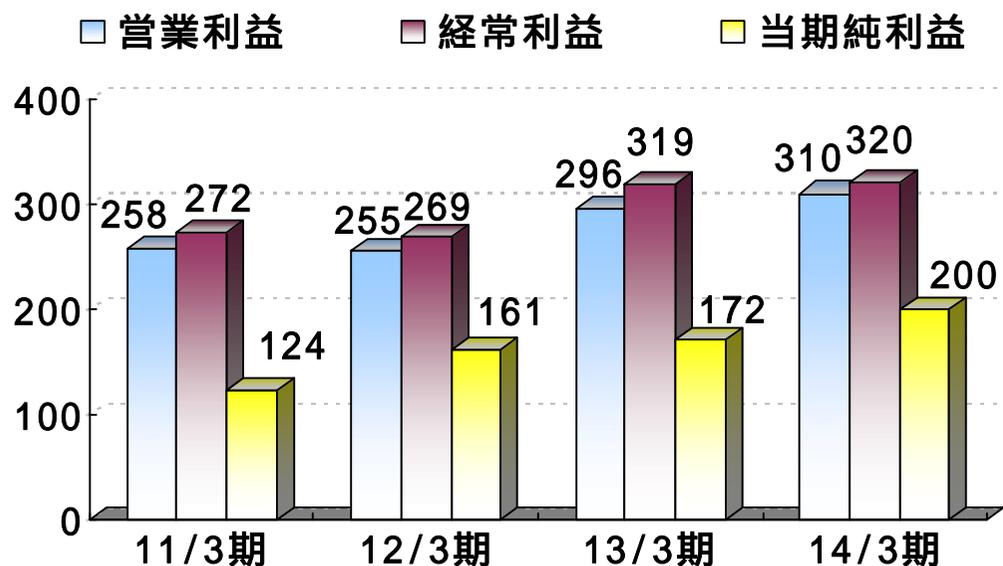
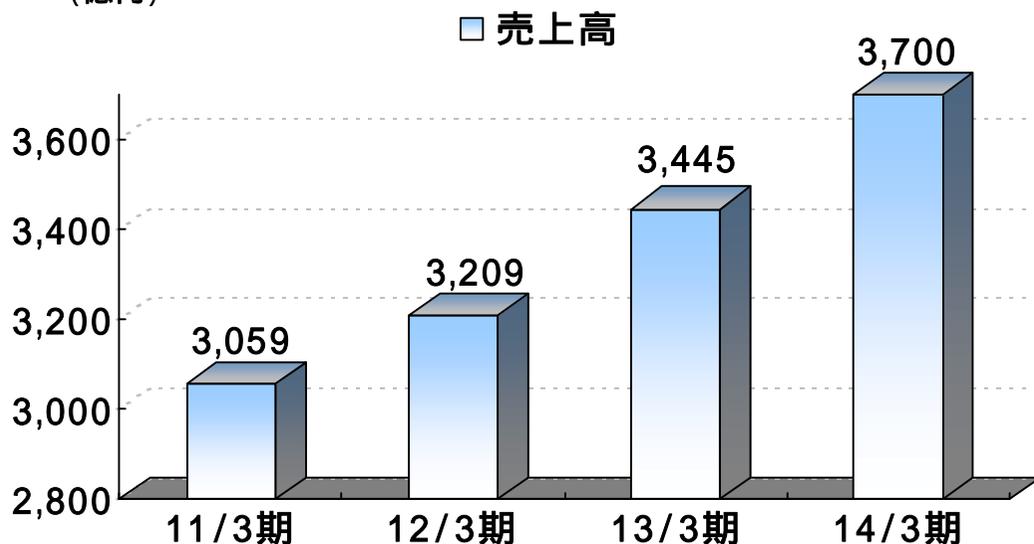


3 . 通期見通し



連結通期見通し

(億円)



(単位:億円)

	13/3期	14/3期	増減率
水産食品事業	324	340	105%
海外即席麺事業	707	711	101%
国内即席麺事業	1,170	1,238	106%
低温食品事業	621	640	103%
加工食品事業	177	183	103%
冷蔵事業	149	152	102%
その他	297	436	146%
売上高合計	3,445	3,700	107%

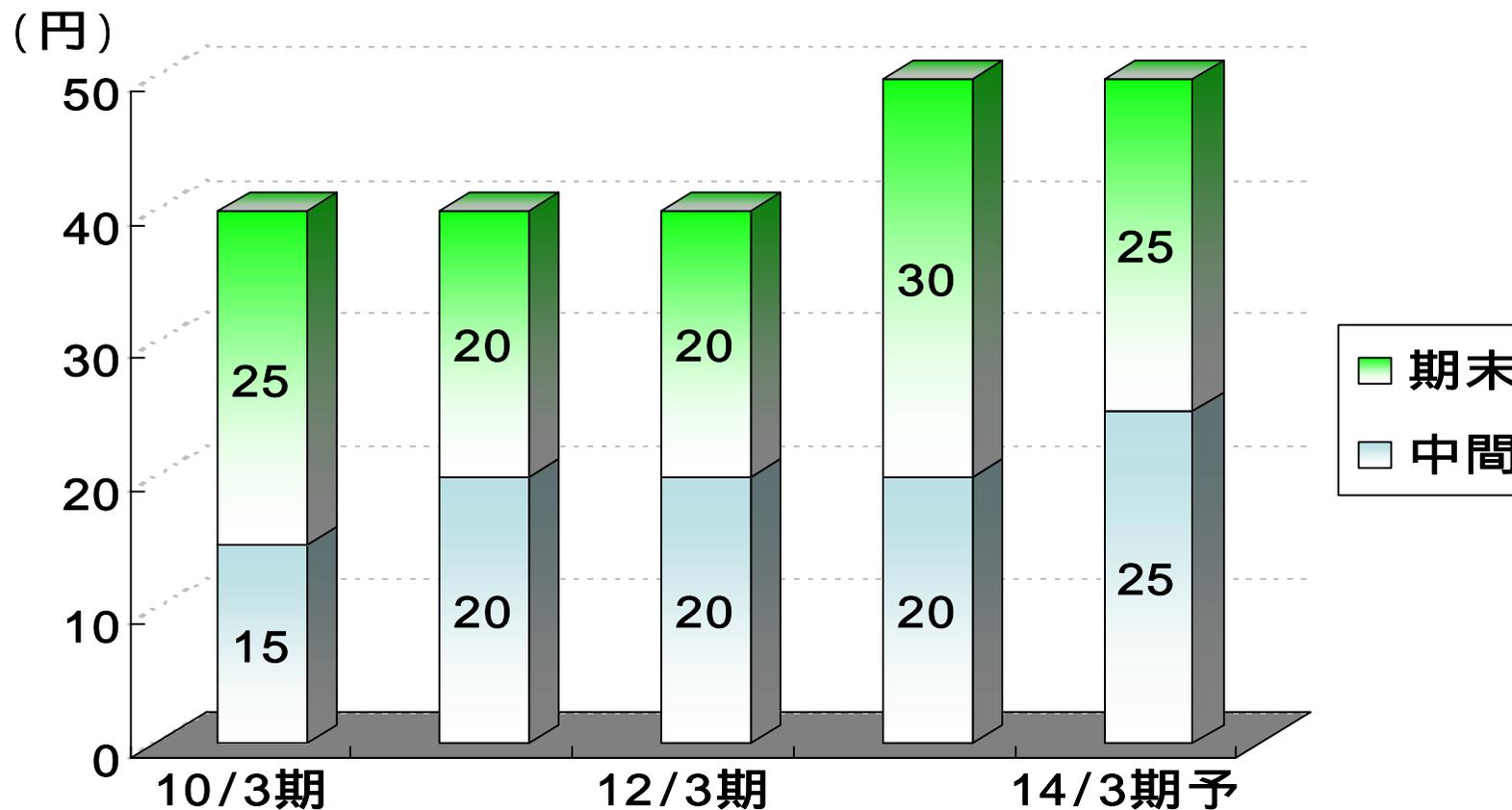
	13/3期	14/3期	増減率
水産食品事業	0	2	308%
海外即席麺事業	132	124	94%
国内即席麺事業	120	122	101%
低温食品事業	36	35	96%
加工食品事業	1	1	
冷蔵事業	11	12	103%
その他	14	17	115%
(調整額)	16	4	
営業利益合計	296	310	105%

14/3期 想定為替レート:94円 (13/3期:94.01円)



配当予想

普通配当で年間50円を予定（中間25円・期末25円）
（当初予想と変更なし）





Smiles for All.

すべては、笑顔のために。

当資料に掲載されている、東洋水産株式会社の計画、見通しや戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に対しての見通しであり、現時点で入手できる情報から得られた東洋水産株式会社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績については様々な要因により、見通しとは異なる結果をもたらさうることをご承知おきください。



東洋水産株式会社



【補足資料】連結業績予想

経営指標等 (億円)	13/3期	14/3期 (予想)	増減	
			金額	率 (%)
売上高	3,445	3,700	+254	+7%
営業利益	296	310	+14	+5%
経常利益	320	320	+0	+0%
当期純利益	173	200	+27	+16%
販売促進費	546	630	+84	+15%
設備投資	163	233	+70	+43%
減価償却費	109	105	4	4%
為替レート (USD)	94.01	94.00	-	



【補足資料】事業別売上予想

決算期 (億円/前年比%)	13/3期		14/3期			
	上半期	通期	上半期		通期(予想)	
連結売上高	1,582	3,445	1,763	+11%	3,700	+7%
水産食品事業	160	324	162	+2%	340	+5%
海外即席麺事業	285	707	353	+24%	711	+1%
百万ドル	367	751	361	2%	756	+1%
国内即席麺事業	493	1,170	537	+9%	1,238	+6%
袋麺	126	310	161	+29%	363	+17%
カップ麺	367	860	376	+2%	875	+2%
低温食品事業	325	621	330	+2%	640	+3%
加工食品事業	83	177	86	+3%	183	+3%
冷蔵事業	76	149	79	+4%	152	+2%
その他	161	297	216	+34%	436	+46%



【補足資料】事業別営業利益予想

決算期 (億円/前年比%)	13/3期		14/3期			
	上半期	通期	上半期		通期(予想)	
連結営業利益	134	296	139	+4%	310	+5%
水産食品事業	2	0	0		2	+208%
海外即席麺事業	58	132	62	+8%	124	6%
百万ドル	74	140	64	14%	132	6%
国内即席麺事業	40	120	45	+11%	122	+1%
低温食品事業	21	36	18	15%	35	4%
加工食品事業	0	1	1		1	
冷蔵事業	7	11	8	+5%	12	+3%
その他	11	14	10	9%	17	+15%
(調整額)	4	16	2		4	